

## 謹賀新年 平成27年元旦

公益財団法人仁泉会  
北福島医療センター 院長 木村秀夫



明けましておめでとうございます。来るべき超高齢者社会に向けての医療再編成が進むなか、北福島医療センターを含む仁泉会グループも変化を求められています。今年も病院にとっては試練の年となりそうです。病院から地域への合言葉のもと、病院の役割も変わってゆき一昨年には回復期リハビリ病棟を大幅に拡充、そして昨年は急性期病棟を削って地域包括病棟28床を新設いたしました。今年も地域医療支援病院として、登録医の先生方との連携のもと地域医療の責務をはたしてゆきたいと思えます。登録医の先生方には昨年中の御厚情の御礼を申し上げますとともに、今年も引き続き密接な連携をお願いいたします。急性期病床、リハビリ病床あるいは患者様の在宅復帰支援を目的とした地域包括ベッドなどを病状に応じて活用していただき、これまでに以上に開放型病院として利用していただきたいと思えます。

北福島医療センターのルーツは、昭和30年12月に保原町にベッド数10、職員5名のさとう医院（産科婦人科）が産ぶ声をあげたのに始まりますが、昨年暮れに60周年を迎えました。人間でいえば還暦でありあちこちに老化現象が出てくる頃ですが、還暦を過ぎて心機一転生まれ変わるセンターでありたいと願っております。またスタート時の気概、理念は引き継いでゆかなければなりません。

より良い医療、介護を行うためには、スタッフ間の良いコミュニケーションが求められます。スタッフ同士あるいは部署間の意思疎通や情報共有の欠落がミスにつながったり医療事故を引き起こす元にもなります。昨年センターとしてこのテーマに取り組んできましたが、今年も継続してゆき、より良い職場環境を目指してゆきたいと考えています。今年未年ですが、未（ヒツジ）は一匹一匹は無力でも群れをなし力を合わせながら目標に向かってゆく象徴とも言われます。医療の世界では全員が力を合わせチーム医療を行ってゆくことが必要であり、一人一人は微力でも未のチームワークを見習ってこの地の医療に邁進する所存です。どうぞ今年も宜しく願いいたします。

## CONTENTS



12月15日 公益財団法人 仁泉会の  
創立記念日に

新年の挨拶	1
医療安全推進週間の取り組み	2
回復期リハビリテーション病棟から	2
栄養科から	3
お知らせ	3
クリスマスコンサートのご報告	4

## 医療安全推進週間の取り組みを行いました

今年の医療安全推進週間は『コミュニケーションのよい職場をめざして』というテーマで、パネル発表を行いました。

一年後に自分達の職場がコミュニケーションのよい職場、真のチーム医療の実現した職場になっていたとしたら、その職場はどんな職場なのかということ、各部署で話し合い、それを文章や物語、図や絵にして18部署が掲示しました。

医療安全の大切な基本的条件のひとつと考えられる、職場のコミュニケーションについて、各部署で話し合う機会を持つ事ができ、伝達漏れや情報共有不足などから発生するミスを防ぎ、患者様、職員の医療安全を確保することを、改めて認識しました。

各部署の発表に対し、職員全員が投票を行い、上位3部署が表彰されました。今後も、より良いチーム医療を目指して職員全員で取り組んでいきたいと考えております。



職員全員の投票で1位に輝いた栄養科の作品



講義室に18部署の作品が掲示されました



志賀医療安全管理室長より1位の表彰を受ける  
栄養科 角田真佐江科長

## 回復期リハビリテーション病棟では

「♪♪あた～らしい朝が来た、  
きぼう～の朝だ♪♪」

あゆみ病棟の朝はこの音楽から始まります。病棟での生活を少しでも楽しんでほしい、意欲的にリハビリテーションをやり元気になってほしい、という思いであゆみ病棟では毎朝ラジオ体操を行っています。患者様もスタッフも音楽が鳴り始めると病棟の廊下に集合し、談笑を交えながら体操を行っています。中にはスタッフと手を取り合い体操される方や歌を口ずさむ方もいらっしゃいます。

患者様からは「目が覚めてスッキリする」「みんなと話す機会ができた」などの感想をいただいています。

年末年始を家でのんびりされている方も多いと思います。少しずつ身体を動かす朝活としてラジオ体操はいかがでしょう？



あゆみ病棟の廊下で



## 栄養科から

### 12月24日クリスマス・ジングルベルメニュー

献立 サフランライス・クラムチャウダー・若鳥のいろいろ野菜添え・グラッセ  
オニオンリング・ポテトミモザサラダ・いちごムースケーキ

クリスマス・イブの日にゴージャスな気分を味わって頂くために、栄養科全員で試行錯誤した、クリスマスの食事を患者様にお届けしました。若鳥は特製のタレにじっくりと漬け込み、臭みを消して柔らかく仕上げました。入れ歯の方々も、若い年齢層の方々にも、ご満足頂けた肉料理でした。



## お知らせ

●平成27年1月より外来診療日の体制が下記のとおり変更となりますので、お知らせいたします。通院中の患者様には、大変ご迷惑をお掛けいたしますが、よろしく願いたします。

- ・ **甲状腺外来**の診療日が**毎週金曜日**に変更になります。それに伴い、診察を**1階の外来診察室**で行います。
- ・ **リハビリテーション科**の診察は、月・火・金曜日の午前中、大平葉子医師のみとなります。

●**伊達市の 子宮頸がん検診・乳がん検診は、平成27年2月27日(金)までになります。**

期間終了間際は混み合いますので、お早めに受診されることをおすすめいたします。

ご予約、お問合せは北福島医療センター 予防健診センター 024-551-0109(直通)までお願いいたします。

### 〈保原中央クリニックでは〉

#### ●糖尿病教室

1月16日(金) 10:30~11:30 『お正月気分をリセットしましょう』  
日本糖尿病療養指導士の管理栄養士がお話します。

#### ●ふれあいの日 1月13日(火) 11:30~12:15

体操編『ストレッチで寒くなった身体の筋肉を伸ばしましょう』

#### ●もの忘れ教室 1月23日(金)11:00~11:30

『介護のコツと技術、患者様の体力維持』

認知症ケア専門士、作業療法士、理学療法士がお話します。





## クリスマスコンサートを開催しました

11月20日(土)14時より、入院患者様やそのご家族様を対象に、クリスマスコンサートを開催しました。

公益財団法人仁泉会の職員による「JMFハンドベルリンガーズ」が「ジングルベル」や「歓喜の歌」などを清らかなハンドベルの音色を響かせたあとには、北福島医療センター附属保育所わんぱくランドの子供たちが元気に歌とお遊戯を披露し、会場の皆さんから大きな拍手をいただきました。



ママさんコーラスグループ「ドライシイガー」の皆さんは「ひさしく待ちにし」「赤鼻のトナカイ」などをアカペラで披露し、「ジングルベル」を会場の皆さんと一緒に歌いました。最後に、伊達中学校吹奏学部の皆さんのアンサンブル演奏をお楽しみいただきました。



Merry Christmas



### ●経営理念●

笑顔を咲かそう。

豊かな「人間性」と、高い「専門性」で、お客様と職員の「幸せ」という花を咲かそう。

### ●ブランドメッセージ●

皆様とともに

「仁泉会」は、多様な医療・介護施設を擁し、お客様の誕生から晩年までをサポートしている「公益財団法人」です。医療・介護分野としては、福島県第一号の認定であり、「地域への貢献」が評価され、信頼されている証です。私達は「豊かな人間性」と「高度な専門性」をさらに追求し、すべては、皆様の健康と幸せを創造するために、努力し続けます。

### 北福島医療センター 理念

私たちは、質の高い医療を提供し、地域に信頼される病院を目指します。

北福島医療センター 「リエゾン」編集係  
TEL 551-0551 FAX 551-0808

E-mail jmo@jinsenai.or.jp  
URL <http://www.jinsenai.or.jp>